

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等児童デイサービスパリティ		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和7年 4月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和7年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 23日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	色々な活動を経験することで子ども達が成長していること。	活動内容を固定化することなく、課外活動や室内で行う活動などいろんな活動を取り組んでいる。また、自立に向けた訓練も行い、買い物学習や公共交通機関などの利用の仕方を学んでいる。	引き続き継続できることは取り組む。また、新しい活動（子ども達が楽しく参加できる活動）を考え取り組んでいきたい。さらに自立に向けた取り組みなどを今後も増やしていきたい。
2	就労との関わりがあり、見学や体験などを積極的に取り組んでいる。	長期休みに入ると、就労先に見学に行ったり体験学習を取り組み将来について考える場を設けている。また、普段の活動の中にも就労に必要な取り組み（挨拶練習や聞く力トレーニング）を行い、就労に向けた取り組みを行なっている。また、バザーを行い自分たちで作った商品を実際に販売したりしている。	同じ会社内で就労の事業所があるので見学だけでなく、実際に働いてみて賃金を得る経験をさせてみたい。また、バザーなどを継続してを行い、自分たちで作り・販売などの体験をさせてあげたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子ども達の個別の対応ができていないこと	集団活動が主となっているため、個別での対応ができないなっている様子が見られる。また、個別で話をしたいが話ができるスペースがないため、他の児童に話の内容が聞こえていることがある。	集団活動だけでなく、その子にあった個別の活動を考えていく必要がある。また、個別で話ができるような空間を作れるように工夫をしていく。
2	保護者に対して、事業所のことや子ども達の活動内容や成長などを発信していくこと	今回アンケート結果に、事業所で取り組んでいる研修のことや子ども達の活動などについて『分からない』と回答していることが多くあがっていた。事業所での取り組みや子ども達がここまで成長していることを保護者が知られていないことがわかった。	HPやお知らせのプリントだけでなく、SNSを活用して事業所での取り組みや子ども達の活動などを周知していけるようにしていきたい。また、事業所に訪れた際は、事業所内の案内や子ども達が行なっている活動プリントを保護者に見せるようにしていきたい。
3			